

### ◆市木 ガジュマル



常緑高木で、熱帯雨林では20mもの大木になります。

沖縄では、各島の低地、岸壁面、樹上などにさまざまな形で生育しています。

老大木にもなると、その特異な形状が神秘奇怪に見えることから神木霊木にもなります。昔の子どもたちは幹の白い樹液を遊びに用いたりしました。

### ◆市蝶 オオゴマダラ



日本最大のチョウの一つです。ハネを広げた時の大きさが6~8cmあります。

エサとなるホウライカガミには毒が含まれており、この毒が成虫になっても残るため、敵に襲われる事は少なく、飛び方はゆるやかで優雅です。

サナギは、「金のサナギ」でよく知られています。

### ◆市鳥 サシバ



#### ◆市鳥 サシバ

秋に越冬のためにフィリピン方面へ渡ります。宮古群島は昔からサシバの中継地として知られています。北風の吹き出す「寒露」のころ（10月8日前後）にその風を利用して南下して来ます。

成鳥はカラスほどの大きさで、目が黄色の鋭い顔つきをしており、体はすこし赤みのあるかっ色で胸と腹にかっ色の横じまがあります。

昔は食料として、また子供達のおもちゃとして捕獲されていましたが、現在は数が減り、国際保護鳥に指定されています。

## ◆市花 ブーゲンビレア



常緑のつる性植物で、花は、赤、青、黄、白と色彩豊かです。色のついた部分は花びらではなく、葉の変形した苞（ほう）で、本当の花は茎の中にある筒状の部分です。日当たりと水はけの良い場所であれば、土質は特に選ばず、作り方もいろいろ楽しめる熱帯を代表する植物の一つです。

## ◆市魚 タカサゴ



色彩豊かな 25cm 前後の美しい魚で、沖縄からインド洋にかけて分布しています。

一年を通して漁獲される沖縄県の主要魚種であり、数少ない大衆魚として広く県民の食卓に普及しています。さらに、沖縄の海を連想させる美しい色彩を持っており、味も良いとされています。

## ◆市花木 デイゴ



春から初夏にかけて樹冠全体に咲く紅色の花。沖縄三大名花とされ県花にも指定されています。

公園や街路樹としてよく栽培されています。また、この木を素材にして、琉球漆器や各種工芸品にも使われています。

## ◆市貝 スイジガイ



6本の角があり、水の字に似た姿をしています。漢字で書くと水字貝となります。

魔よけや火難よけとして利用するのは、沖縄の風習のひとつで、宮古でも古くからスイジガイのツノを縄で結び豚舎の前に吊るしたり、石垣や軒下につるしたりしています。